

広島熊野道路の無料開放後における周辺道路の交通状況について

道路企画課

1 要旨

令和2年12月6日に無料開放した広島熊野道路について、無料開放から2か月後（令和3年2月9日）に実施した交通量調査の結果など、現在の交通状況について報告する。

2 無料開放後の交通状況について（別紙参照）

（1）広島熊野道路と並行する現道の矢野安浦線の交通量について

広島熊野道路の昼間12時間の交通量は、無料開放前の約8,200台から約7,600台が増加し、約15,800台となっている。一方、現道の矢野安浦線の交通量は同程度の減少が見られたことから、現時点では他路線からの交通転換はほとんど生じていないと考えられる。

（2）周辺交差点の朝・夕ピーク時の渋滞状況について

ア 平谷交差点

現道の矢野安浦線においては、交通量の減少に伴い渋滞長が減少している。

また、広島熊野道路においては、料金所での渋滞が解消され、車両が平谷交差点まで低速度で走行している。

イ 海田大橋入口交差点

無料開放直後においては、安芸南高校方面から海田大橋入口交差点に向けて、著しい渋滞が発生していたが、12月下旬に方向別のレーン構成を見直したことにより、現在は渋滞が解消している。

3 今後の予定

現状において、周辺道路の大きな交通混雑は生じていないが、今後、無料となった広島熊野道路を新たに使い始める利用が増えるなど、交通量が変化していくことも考えられることから、引き続き、周辺道路の交通状況を注視しながら、関係機関と連携して適切に対応していく。

無料開放後の交通状況について

